

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(使用済燃料貯蔵ラック等の耐震性についての計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.2	表2-11について、ラック構造(内板と外板の取り付け状況)、燃料プール床の下にある埋め込み部について、図示を適切化し説明すること。	2022/4/27	ラック構造、燃料プール床の下にある埋め込み部について、詳細を記載しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.2,9	
2	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.2	表2-11に関連して、燃料プール床下の埋め込み部の評価結果を補足説明資料で説明すること。	2022/4/27	燃料プール床下の埋め込み部の評価結果について、補足説明資料(NS2-補-027-10-65)の通り整理しました。	NS2-補-027-10-65「使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価」	
3	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.17	表4-6について、剛構造の場合であってもモード図を追加し説明すること。	2022/4/27	図4-4に振動モード図を追加しました。これに伴い、以降の図番号を適正化しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.17,19~23	
4	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.15	4.3項の(2)について、「ラックは独立した系として」の表現を適正化し説明すること。	2022/4/27	解析モデルはラック単体をモデル化していることが分かるよう、記載を適正化しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.15	
5	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.18	表4-7の水平方向設計震度について、「弾性設計用地震動S <sub>d</sub> 又は静的震度」に対し、「基準地震動S <sub>s</sub> 」で方向を区別して記載する理由を注記で補足し説明すること。	2022/4/27	水平方向設計震度について、「基準地震動S <sub>s</sub> 」で方向を区別して記載する理由を注記に記載しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.18,26,32	
6	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.20	図4-5について、ラック取付ボルトの計算式との整合を図ること(図示を拡充すること)。	2022/4/27	ボルトの荷重状態図を拡充しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.20,22,27,28,33,34	
7	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.30	1.4.2項について、個別応力を評価した上で組合せ応力が最大となるケースを結果記載していることが分かるよう、注記で補足し説明すること。	2022/4/27	個別応力を評価した上で組合せ応力が最大となるケースを整理していることを記載しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.30,36	
8	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.13	表4-3について、組合せの許容応力状態について記載の適正化を検討すること。	2022/4/27	4.2.2許容応力では、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」の当該許容応力をそのまま引用し、一方で4.8応力の評価では当該設備に適用する具体的な許容応力を記載する耐震計算書のフォーマットとしているため、現状の記載のままとします。また、P.13の表4-3のft、fsとP.24のft、fs(イタリック)は別の記号ですが、字体が異なるだけであるため、後者をftm、fsmに変更します。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.5,24,30,36	
9	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.24	許容応力の記載について、P.13の表記とあわせて記載の適正化を検討すること。	2022/4/27	4.2.2許容応力では、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」の当該許容応力をそのまま引用し、一方で4.8応力の評価では当該設備に適用する具体的な許容応力を記載する耐震計算書のフォーマットとしているため、現状の記載のままとします。また、P.13の表4-3のft、fsとP.24のft、fs(イタリック)は別の記号ですが、字体が異なるだけであるため、後者をftm、fsmに変更します。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.5,24,30,36	
10	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.26	固有周期0.05sの設計用床応答スペクトルの値を提示し説明すること。	2022/4/27	固有周期0.05sの設計用床応答スペクトルの値は、包絡値でNS方向3.512、EW方向2.86となります。	—	
11	2022/1/7	NS2-添2-004-03	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.8	(4)の鉛直方向地震力の組合せ方法についての説明を適正な記載に修正し説明すること。	2022/4/27	水平方向及び鉛直方向の動的地震力による組合せは、SRSS法を適用していることが分かるよう、記載を適正化しました。	NS2-添2-004-03改01「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.8	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
12	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.1	制御棒・破損燃料貯蔵ラックを例に説明している体裁となっているため、他の設備にも排除水質量の考慮を適用していることが分かるように修正し、説明すること。	2022/4/27	資料タイトルから「(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)」を削除するとともに、1、2及び5項の内容を制御棒・破損燃料貯蔵ラックに限定した記載から水中構造物一般についての記載に見直し、制御棒・破損燃料貯蔵ラックはその適用例として3及び4項にまとめるよう図書を再構成しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」表紙.P.1~14	
13	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.7	表3-1、先行プラントを参考に記載充実して説明すること。	2022/4/27	先行プラントを参考に、制御棒・破損燃料貯蔵ラックに限定した記載から水中構造物一般についての記載に見直し、これに伴って既工認との比較から評価方法ごとの比較に変更しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.8	
14	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.1	付加質量、排除水質量の説明について、p.12の記載と整合するように修正し、説明すること。	2022/4/27	付加質量、排除水質量の定義を統一しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.1	
15	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.1	2.1項の最終行、インデントを修正して説明すること。	2022/4/27	2.1項本文の内容として適切なインデントとなるよう修正しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.1	
16	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.3	機械工学便覧について記載充実して説明すること。	2022/4/27	機械工学便覧の引用を追記し、併せて記載を見直しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.2,3,9,14	
17	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.13	流体中の構造物、機器について、耐震計算実施しているものについて追加して説明すること。	2022/4/27	流体中の構造物、機器について、耐震計算を実施しているものを追記しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.18,19	
18	2022/1/7	NS2-補-027-10-13	補足説明資料	排除水質量の考慮による応答低減の考慮(制御棒・破損燃料貯蔵ラック)	P.9	4.3項、鉛直方向の付加質量設定方法を確認して説明すること。	2022/4/27	鉛直方向の付加質量設定方法の記載を見直しました。	NS2-補-027-10-13改01「排除水質量の考慮による応答低減の考慮」P.12	
19	2022/4/27	NS2-添2-004-04	耐震(計算書)(VI-2-4-2-3)	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.22	サポート部材の応力評価に関し、サポートのプレート部に係る耐震評価及び裕度について説明すること。	2022/7/13	サポートのプレート部については、サポート部材よりも耐震性に十分裕度があることから、評価対象としていません。	-	
20	2022/4/27	NS2-添2-004-03改01	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.9	使用済燃料貯蔵ラックの解析モデルについて、解析モデルにおける溶接部の扱いは実機と異なる条件となっているため、解析モデルの妥当性について説明すること。	2022/7/13	補足説明資料「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」を作成し、溶接部の扱いは実機と同等となるよう、ヤング率を補正して解析を実施している旨記載しました。	NS2-補-027-10-72「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」P.1	
21	2022/4/27	NS2-添2-004-03改01	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.17	ラックの振動モード図が、一般的な下端固定の片持ちはりの振動モード形状になっていない理由について、ラックの構造も踏まえて説明すること。	2022/7/13	補足説明資料「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」を作成し、振動モードの次数を刺激係数との関係を踏まえ、改めて整理しました。また、高次の振動モード図を記載しました。これに合わせて、耐震計算書を修正しました。	NS2-添2-004-03改02「VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」P.17,18,27,31,33,37 NS2-補-027-10-72「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」P.2,3	
22	2022/4/27	NS2-添2-004-03改01	耐震(計算書)(VI-2-4-2-2)	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.18	使用済燃料貯蔵ラックの固有値解析について、SA時の温度条件でも剛構造となるのか説明すること。	2022/7/13	補足説明資料「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」を作成し、SA時の温度条件として100℃におけるヤング率との比較により、剛構造となる旨記載しました。	NS2-補-027-10-72「使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について」P.2	
23	2022/7/11	NS2-添2-014-19	耐震(計算書)(VI-2-11-2-7-4)	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.17	吊荷重の定格荷重と無負荷の固有値解析結果の違いについて、確認して説明すること。	今回回答	吊荷は、チェーンによるぶら下がり構造であり、水平方向には長周期となるため、水平方向のモデルとしては、質量は考慮していません。このため、吊荷の有無によらず水平振動モードである1、3次においては、同じ結果となっています。また、鉛直方向につきましては、2次モードについては吊荷の有無により、結果に差が出ています。	NS2-添2-014-19改01「VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書」P.17	
24	2022/7/11	NS2-添2-014-19	耐震(計算書)(VI-2-11-2-7-4)	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.17	「鉛直方向は3次モード～」の記載内容を確認して説明すること。	今回回答	2次モードにおいて、水平だけでなく、鉛直の振動もでているため、2次の卓越方向を、「水平/鉛直」とし、当該の「鉛直方向は3次モード～」の記載は、削除しました。	NS2-添2-014-19改01「VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書」P.17,30,31,35	
25	2022/7/11	NS2-添2-014-20	耐震(計算書)(VI-2-11-2-7-5)	VI-2-11-2-7-5 制御棒貯蔵ハンガの耐震性についての計算書	P.21	ハンガからCRが脱落してボールを乗り越えないことを確認して説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(使用済燃料貯蔵ラック等の耐震性についての計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～65については、NS2-他-158で整理済みのため省略。						
66	NS2-添2-004-03改03	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.5,14	許容引張応力Sは使用していないことから、削除しました。	2022/9/8	
67	NS2-添2-004-03改03	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.15	解析において、幅狭板については材料の縦弾性係数を補正した値を使用していることを明確化しました。	2022/9/8	
68	NS2-添2-004-03改03	VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.27,33	解析において、大板については材料の縦弾性係数を、幅狭板については材料の縦弾性係数を補正した値を使用していることを明確化し、あわせてその値を追記しました。	2022/9/8	
69	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.2	ラックの支持構造を明確化しました。(下線部参照) (旧)・・・固定及び壁からのサポートで・・・ (新)・・・固定し、さらにラックの短辺方向は壁に基礎ボルトで固定したサポートで・・・	2022/9/8	
70	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.2	破損燃料格納容器についての記載位置を、基礎・支持構造の欄から主体構造の欄に変更し、さらに不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)・・・挿入できるが、格納容器上部についてはラック外となる構造である。 (新)・・・挿入できる。	2022/9/8	
71	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.5	FyBの記号の説明を明確化しました。(下線部参照) (旧)ベース底部に働くせん断力 (新)ベース底部からラック重心位置までに働くせん断力	2022/9/8	
72	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.5	FyGの記号の説明を明確化しました。(下線部参照) (旧)ラック重心位置に働くせん断力 (新)ラック重心位置からサポート位置までに働くせん断力	2022/9/8	
73	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.6,18	図5-1について、評価内容との対応が明確になるよう、せん断力と反力の関係について記載を適正化しました。また、図の修正に伴いベース部反力 $R_B$ について、記号の説明を追記しました。 ・せん断力FyGの表示をラック上部に移動して矢印を反転、重心位置の荷重として $C_H \cdot m \cdot g$ を追記 ・ベース底部の反力 $R_B$ を追記してサポート反力Rと合わせて荷重を示す矢印を追記 ・反力の矢印追記に伴ってサポートによる支持を示すマーカーが見易くなるようサイズを拡大 ・モーメントMxG、MxBの向きを反転	2022/9/8	
74	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.18	ラックの荷重状態についての評価条件を明確化しました。(下線部参照) (旧)・・・示す。 (新)・・・示す。なお、部材の荷重状態は下端固定、サポート支持としており、重心位置に集中荷重が作用すると想定する。	2022/9/8	
75	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.18	サポート反力Rとせん断力FyGが等しい理由を明確化し、同様な考え方のベース底部の反力 $R_B$ とFyBについても等しいことを明確化しました。	2022/9/8	
76	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.19	転倒モーメントMxB、MxGについて、計算過程を明確化しました。	2022/9/8	
77	NS2-添2-004-04改02	VI-2-4-2-3 制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書	P.36	固有周期の評価結果について、各固有周期を示す記号を追記しました。	2022/9/8	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
78	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.2	表2-1の概略構造図に、水平ブレースの固定方法とブームとの位置関係がわかるように、ブームから水平に張り出している部材(I形鋼)を追記しました。	2022/9/8	
79	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.2,28,33	部材寸法がわかるように、表2-1の構造概略図、P.28、P.33に、部材の断面形状を追記しました。	2022/9/8	
80	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	3. 評価部位における耐震評価の記載を、他の工認図書と統一した記載に変更しました。(下線部参照) (旧)・・・に基づき、耐震評価上厳しくなるブーム、回転ポスト(上部、下部)、固定ポスト及び基礎ボルトについて実施する。・・・主構造を構成するブーム・・・ (新)・・・に基づき耐震評価を実施する。・・・主構造を構成し耐震評価上厳しくなるブーム・・・	2022/9/8	
81	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	3. 評価部位における、文章表現を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・および・・・ (新)・・・及び・・・	2022/9/8	
82	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	4.1(1)項において、文章表現を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・により固定されるものとする。 (新)・・・により固定する。	2022/9/8	
83	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	4.1(3)項において、文章表現を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・から個別に作用するものとし、・・・にて組み合わせるものとする。 (新)・・・から個別に作用し、・・・にて組み合わせる。	2022/9/8	
84	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	4.1(5)項の評価ケースについて、ケース1とケース2のうち、計算結果が厳しくなるケースを記載していることがわかるように、記載を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・を想定しケース1、2について評価する。 (新)・・・を想定しケース1、2について実施し、計算結果の厳しいケースを記載する。	2022/9/8	
85	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.9	4.1(5)項の評価ケースについて、ケース毎のブームの向きがわかるように、表4-1にブームの向きの詳細を追記しました。	2022/9/8	
86	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.15	質量の付加方法について、はり要素の部材質量は、等分布に節点に付加していることを、4.3(3)として追記しました。	2022/9/8	
87	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.15	質量の付加方法について、吊荷質量を鉛直方向についてのみ考慮することを、4.3(4)として追記しました。	2022/9/8	
88	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.15	回転ポストの拘束条件について、安全側に評価するため解析モデル上は完全固定とすることを、4.3(2)に追記しました。	2022/9/8	
89	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.17,27,32	2次モードにおいて、水平だけでなく、鉛直の振動もでているため、2次の卓越方向を、「水平」から「水平/鉛直」に修正したことから、鉛直方向の固有周期の記載及び、鉛直方向の設計震度の記載を修正しました。	2022/9/8	
90	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.18,19	図4-2、図4-3のモード図において、青線と黒線がそれぞれ、「青:振動前」、「黒:振動モード」であることがわかるように、凡例を追加しました。	2022/9/8	
91	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.23	図4-4において、基礎ボルトの配置を最新の設計に合わせて適正化しました。	2022/9/8	
92	NS2-添2-014-19 改01	VI-2-11-2-7-4 チャンネル取扱ブームの耐震性についての計算書	P.34,35,36	表中の荷重、モーメント、固有周期、算出応力の記載値を、表4-10の内容に合わせてものに修正しました。	2022/9/8	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
93	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	目次,P.3,6,7	章タイトルについて、評価内容を明確化しました。合わせて文言を統一しました。(下線部参照) (旧)4. 評価条件及び評価方法 5. アンカー部評価 (新)4. 評価条件及び発生荷重評価方法 5. アンカー部許容引張荷重評価	2022/9/8	
94	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	目次,P.4~7,9	アンカー部の評価における計算過程を明確化しました。これに伴って表番号と目次のページ番号を修正しました。	2022/9/8	
95	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	P.1,4	工認図書への参照の記載方法を他の工認図書の記載と統一しました。(下線部参照) (旧)添付書類「VI-2-4-2-2 使用済・・・」 (新)VI-2-4-2-2「使用済・・・」	2022/9/8	
96	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	P.1	埋込金物を現状の設計としている理由を明確化しました。	2022/9/8	
97	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	P.1	アンカー部の評価における比較対象を明確化しました。(下線部参照) (旧)耐震評価は、アンカー部の最小裕度評価項目であるコーン状破壊・・・ (新)耐震評価は、 <u>機器用金物、埋込ボルト、コンクリートのうち、最も裕度が小さいコンクリートのコーン状破壊</u> ・・・	2022/9/8	
98	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	P.7	許容引張荷重の入力値として、評価結果が導出できる精度の値を記載しました。	2022/9/8	
99	NS2-補-027-10-65 改02	使用済燃料貯蔵ラックのアンカー部評価	P.9	6. 評価結果の記載に合わせて、表4の記載を修正しました。	2022/9/8	
100	NS2-補-027-10-72 改01	使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について	目次,P.1~6	算定した縦弾性係数の補正係数が理解しやすいよう図を追加し、これに伴って図番号と目次のページ番号を修正しました。	2022/9/8	
101	NS2-補-027-10-72 改01	使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について	P.1	VI-2-4-2-2「使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書」の補足説明資料であることを明確化しました。	2022/9/8	
102	NS2-補-027-10-72 改01	使用済燃料貯蔵ラックの耐震解析のモデル化と温度による固有値解析への影響について	P.4	評価に用いるボロン添加ステンレス鋼板の縦弾性係数に関する経緯を明確化しました。	2022/9/8	